

2026年度第2回セントラルオフィス委員集会議事録

2026.8.23(日)

会場:たましん RISURU ホール

1. 開会

- ・序文朗読:副議長
- ・伝統朗読:峡東 G
- ・出席者の自己紹介:割愛
- ・定足数の確認

総グループ数:267、CO委員登録数:115、議決権者数:68

アトム、新宿 UNITED、千代田、西新宿、ぴのきお、蒲田、久が原、さくら・自由が丘、世田谷、東京たわー、永井坂、原宿、赤羽、DT千駄木 12 ステップ、本郷東大前 12 ステップ、谷中、向島、板橋、ウェルカム、大塚、巣鴨 TwelveSteps、Tokyo Unity、東武、ときわ台、永福、上石神井 LS、石神井、シャローム中野、杉並、ほのか、上尾、川口、埼玉ひまわり、南浦和、出会いの里、ふじみ野、浦安、新船橋、新松戸、Simple、わたらせ、さざなみ、花小金井南、ひばりが丘、調布、府中、むさしの、連雀、エンジョイ、恋ヶ窪、福生、多摩センター、南部、西八、京北、港北、桜木町、横浜、いなほ、川崎、新百合ヶ丘、湘南、峡東
白紙委任状:柏、赤塚、川越
条件付委任状:なし

※地震による電車運休のため途中参加の CO 委員多数。議決ごとに議決権者数の確認を行った。
また当初オンライン参加の仲間には議決権は無しとしたが、地震の影響によりやむを得ずオンライン参加となる議決権のある仲間については、急遽オンラインの参加でも議決権を有することが承認された。

- ・開会宣言:運営委員長
- ・資料の確認
 - ① 2026 年度第 2 回セントラルオフィス委員集会議事進行表
 - ②「アピール権」行使の流れ・「動議」提案の流れ
 - ③ 休眠口座に関する報告および今後の取り扱いについて
 - ④ 2026 年度 CO運営委員会上期活動報告
 - ⑤ 2026 年上半期事業活動収支計算書
 - ⑥ 2026 年上半期貸借対照表
 - ⑦ 2026 年 1～5 月收入・献金内訳・支出内訳

2. 役員の募集及び選挙

監事立候補者:狭山 G 林さん(2026 年度)、川口 G あつしさん(2027 年度)

林さん:3 月に監事がいないことを聞き、立候補を決意した。CO委員は今年が初めて。これを機会にCOのことを学びたい。

運営委員:林さんは地域サービスの経験が十分にあり、監事の資格あり。

信任:60 不信任:1 白票:1 → 信任

林さん:CO委員を辞任し、CO連絡係になって監事を引き受けることについて、狭山 G への報告を失念していた。至らない点もあると思うが、協力・フォローをお願いしたい。

あつしさん:地域の監査リーダーの経験あり。大変なときですが役割を全うしたい。

信任:65 不信任:0 白票:0 → 信任

あつしさん:重く受け止め楽しくやりたい。

3. 休眠口座に関する報告および今後の取り扱い案について

運営委員長:資料「休眠口座に関する報告および今後の取り扱いについて」をもとに説明。休眠口座はCOの一般献金としたい。

意見:地域東西分割前のお金であればそれぞれの地域に返金した方がいい。

意見:数年前のラウンドアップ当時の通帳を確認し判断してはどうか。

運営委員:地域のラウンドアップで口座を預かっていたが、何が原因で発生したか分からず、地域からCOに戻した経緯がある。ラウンドアップのみの金額であれば地域に返金するが、他のも混じっているためCOへの献金としたい。

意見:毎年監査しているにも関わらず地域からクレームもなく地域のお金ではない。COの一般献金に入れ

た方がいい。

賛成(COの一般会計にする):62 反対(地域に返金する):0 保留:3 → COの一般献金として処理することに決定。

4. 2026 年度 上半期活動報告

運営委員:職員が1名退職し、現在職員1名体制。当面は現状の開所日で可能。

CO職員:退職する職員の分までの業務はできないが、運営委員の協力を得ながらやっていく。このままでは休めないため、元スタッフにサポートしてもらっている。WEB更新は私しかできないため、引き継いだ上で休暇をとる。

質問:このまま職員1名でいくのか。

運営委員:職員1名体制での継続は難しい。退職する職員には所長を打診していたが固辞された。COの財政が厳しく職員を募集できる状況ではない。支出を見直し献金が増えて体制ができれば募集を検討する。

運営委員長:「2026 年度CO運営委員会上期活動報告」をもとに活動内容を説明。

質問:CO委員ガイドブックの改定には、CO集会で2/3以上の決議が必要ではないか。

運営委員:必要な手続きを確認した上で改定し、正式な手続きを経たものをホームページに掲載する。

質問:職員1名退職後ボランティアはいるか。

運営委員:ボランティアはいない。今のところ元スタッフが応援に来られており、経験者のため引継ぎの時間が必要ない。

質問:ボランティアで業務は回るのか。採用の見通しはあるか。

運営委員:ボランティアにお願いする業務は限られており、それ以外の業務については、アルバイトによる対応が妥当。

CO職員:6月から1名体制。対外業務(刑務所対応など)滞ることはなかった。2つ鳴る電話には片方出られなかった。退職する職員の経理業務が加わるとやっていけない。本当に必要な業務を整理する。

意見:仕事の数とかかる時間を明確にし、削る残すの意思決定が必要。

質問:かつては職員が3名おり、収入が2000万円程度あったが、今は収入が半分かくらいになっている。サービスが少ないという理由でCOへの献金を減らすグループもある。必要な業務をするためにどれくらいの収入が必要か明らかにし、献金を問うことが必要。業務の整理にどのくらいかかるのか。

運営委員:業務の整理にどのくらいかかるかわからない。意見を参考に検討する。

意見:かつてはCOの業務にめりはりがあった。議事録の発送、かわら版の発送、広報セットの発送、代議員の登録など実際に削減できた。定期発送は時期が決まっているためそこでボランティアを集める、アルバイトを雇うなど対応して欲しい。

CO職員:WEBへのアップは翌月分までに止め効率化している。それでも12月は業務が多く1名では足りない。他地域のCOは常勤1名のため、参考にして業務を見直す。

質問:全国オフィス職員ワークショップは終わったか。

運営委員:関西のCOで議事録を作成している。

質問:職員1名では、急遽休むと業務が回らないのではないか。

CO職員:レジ打ちは元スタッフができる。WEBの更新は自身しかできず早急に引継ぎする。

運営委員:職員が休みの場合のCOの対応・周知方法を検討している。

質問:COの開所の費用はあるか。

運営委員:JSOの移転で多くの費用が発生している。CO開所の見積もりはなく献金を募ることになる。

質問:閉所するには同様の目的を持った団体を作っておく必要がある。東西に地域を分割したのだから、東西でオフィスを持つ必要はないか。

運営委員:閉所のお金がなく、その検討はしていない。

意見:新たな団体はJSOでいい。情報が伝わればいい。今の状態でどうするか話し合えばいい。

質問:業務の整理にどれくらいの時間が必要か。今の業務を進めながら実施するのは大変。

CO職員:棚卸は以前3ヶ月に1回だった。メダル、書籍は袋が必要か。変更連絡の宛先はGmailにお願いしているが、半分はもう片方のアドレスに来る。メールには電話番号を入れてもらわないと問い合わせが必要。

運営委員:6月から業務日報で職員に困ったことを報告してもらっており、改善につとめている。

質問:メダル、本の袋を止めるにはグループの許可が必要か。運営委員会の中での検討で済むのか。

運営委員:水曜日の閉所は運営委員の検討で決定した。グループを通さなくていい。

5. 2026 年度 上半期財務報告

運営委員:再開したばかりの財務報告につきまして、8月の定期発送で皆さまにお届けすることができなかったことをおわびいたします。経理担当職員の退職に伴い、当面の間は職員とCO運営委員が協力をして経理業務を進めてまいります。体制が整い次第、できるだけ早く財務報告を再開できるよう努めております。

「2026年上半期事業活動収支計算書」、「2026年上半期貸借対照表」、「2026年1～5月收入・献金内訳」をもとに説明。

質問:東関越地域CO検討委員会の試算によると、今の財政ではCO閉所に相当しないか。

運営委員:現時点ではCOを閉所する方針ではなく、献金の増加と業務の見直しによって財政改善を図り、COを維持する方針である。

質問:賃借料が増えているのはなぜか。

運営委員:昨年までは印刷機も使用していたが、複合機のみになったことが影響している。

質問:手数料の支出進捗80%は多いが何が増えたのか。

運営委員:確認が取れていないので定期発送物で回答します。

質問:横領されたお金は回収できないのか。

運営委員長:横領金はある一定の期間返済されたが、病気で滞っており全額返済は困難。運営委員会では回収見込みがなく、償却とした。

6. 2026 年度 上半期監査報告

運営委員長:現在監事がいないため次回(12月)報告する。来年度の運営委員、監事の立候補者も募集する。

運営委員:ボランティアも募集しており、希望者は運営委員に連絡のこと。

7. ワークショップ

※ワークショップの前にCO職員の要望として、

運営委員:オフィスの開所時間は施錠したい。他地域のCOは基本施錠。来客があると鍵を開けて招き入れている。防犯のため認めて欲しい。

質問:いつから実施するか。

運営委員:9月1日から実施。

— セントラルオフィスの現状と今後についてグループに分かれてディスカッション —
各グループからの報告

①グループ1

- ・献金は減少する。
- ・DX化が必要。
- ・業務内容の提示を。
- ・一人当たりの献金額を明示する。
- ・12番目のステップの手伝いをすることがCOの仕事。
- ・COを支えることが自立。

②グループ2

- ・刑務所からの問い合わせにはCOが必要。
- ・COに文句をいう人はCOに関わっていない人。

- ・COは不要で献金も不要と思っていたが、受けたいサービスを受けるためには献金が必要という意見に変わった。
- ・CO委員を登録していないグループに登録を促すことが必要。
- ・一か月に限り献金 10 割アップ、登録 8 割アップ企画をする。
- ・魅力あるCOについて分かち合いたい。

③グループ3

- ・地域が分かれているから求めるサービスが違う。
- ・電話がつながらないなどサービスが手薄だから献金が少ない。
- ・職員のための余裕も考えたい。
- ・COをつぶすのではなく、自分たちに何ができるかを考えたい。

8. 終わりに

CO職員：本日ボランティア3名応募あり。

本日献金：42,227 円

次回：2026 年 12 月 27 日(日)